

## 令和4年度 佐世保市地方卸売市場運営協議会 議事概要

1. 開催日時：令和4年9月27日（火） 13：30～14：30
2. 開催場所：花き市場2階会議室
3. 出席者
  - ・佐世保市地方卸売市場運営協議会委員14名（委員総数17名）
  - ・佐世保市 高増農林水産部部長他5名

### 4. 議 題

- (1) 佐世保市地方卸売市場の取扱実績推移について
- (2) 佐世保市地方卸売市場保全計画の概要について
- (3) 指定管理者制度導入後の状況について
- (4) その他

### 5. 協議会内容

#### 会長・副会長の選任

会 長：矢野委員（県立大学）

副会長：今村委員（佐世保商工会議所）

の事務局提案に異議なしで決定。

### 議 題

#### (1) 佐世保市地方卸売市場の取扱実績推移について

##### 【事務局】

- ・卸売市場の概要、H23～R3の市場取扱実績について説明。  
市場の役割、流通経路についての基本的な事項説明、各卸売市場の取引状況を資料により説明。  
近年の取扱量減少傾向、新型コロナウイルス感染拡大による影響で減少、横ばい傾向にあることを報告。

##### 【卸売市場代表委員】

- ・各卸売市場の現況について、卸売市場代表委員から説明をお願いした。

##### 【青果花き市場 山本委員】

- ・野菜の取扱量が大きく減少している。玉ねぎ・馬鈴薯など近年の異常気象による生産量の減少。
- ・果実の方はほぼ横ばいの状態。
- ・コロナ禍の影響は続いており、コロナ前までの状態には回復していない。スー

パー等の巣ごもり需要も元に戻り、売れ行きが思わしくない。

- ・花きは生産量の減少が影響、単価高で推移。コロナ禍による冠婚葬祭需要の減少は回復しつつある。

#### 【水産市場 松尾委員】

- ・前年より取扱数量、単価の伸びで増収となっている。
- ・コロナ禍前には及ばないが、魚価は回復傾向。
- ・フィッシュポンプの導入によるイワシ等の集荷増が期待できる。
- ・シイラの需要高く、魚価が高騰。集荷を強化する。

#### 【食肉市場 落合委員】

- ・牛の上場は増加の見込みだが、豚は病気や発育不良により約 1,000 頭減の見込み。
- ・牛の相場が下落している。
- ・牛の集荷営業を強化し、年間 500 頭の増頭を目指す。
- ・ウクライナ情勢による配合飼料の高騰の影響。
- ・コロナ禍や物価上昇による食肉業界の低迷。外国人の入国上限撤廃、円安によるインバウンド効果に期待。

(委員からの質疑なし)

### (2) 佐世保市地方卸売市場保全計画の概要について

#### 【事務局】

- ・保全計画の概要について説明。  
保全計画策定の意義、経年劣化による施設の維持管理必要性和財政支出の平準化を図ることを目的としている。
- ・維持管理に多額の経費がかかっており、今後の流通形態や取扱数量の変化に合わせた集約化、規模の見直し、民営化等の検討が課題となる。

(委員からの質疑なし)

### (3) 指定管理者制度導入後の状況について

#### 【事務局】

- ・指定管理者制度の概要、導入の意義、市から指定管理者へ移行した業務の内容

について説明。・制度導入に際し、運営協議会に諮問した結果、効果的な運営ができるとの判断を頂いている。

- ・各指定管理者の概要について説明。
- ・市場施設の維持管理や活性化の取り組んでおり、迅速で効果的な運営となり、市の人件費削減にもつながっている。
- ・指定管理者の令和3年度モニタリング結果について、総括評価票、モニタリング状況報告書の内容を説明。各市場とも問題なく施設運営がなされており、利用者アンケートについても8割～9割の利用者が満足との評価であったことを報告。

(委員からの質疑なし)

#### (4) その他

##### 【事務局】

- ・本日は、現在の取引状況、保全計画について説明を行った。今の市場を維持していくには多くの費用を要する計画となっている。今後の市場の維持、向上について市場関係者と協議していきたいと考えており、運営協議会の中で必要に応じ報告、協議を行っていきたい旨、今後の協力をお願いした。

## 6. 閉 会

以 上